

2010年12月期 決算説明会



サイオステクノロジー株式会社
(東証マザーズ : 3744)
2011年2月1日

2010年12月期 決算概要

中期事業戦略と2011年12月期業績予想

2010年12月期 決算概要

売上高 4,987百万円 (前年同期比 9.0%減)

ほぼ修正
予想通り

- 「[LifeKeeper](#)」*、「[SIOS Integration for Google Apps](#)」*は堅調
- 昨年提供を開始した[MFP関連ソリューション](#)*は順調に収益貢献
- 「[Red Hat Enterprise Linux](#)」*は、旧製品・サービスが減収だが、新規受注金額は堅調に推移

営業利益 △283百万円 (前年同期は営業利益10百万円)
EBITDA 52百万円 (前年同期比 85.3%減)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

修正予想を
やや上回る

- 既存事業では、コスト構造の見直しを継続
- [クラウドコンピューティング](#)*分野での先行投資を実施(人材拡充、マーケティング拡大)したことにより、主に米国子会社でコスト増加。

※ 「*」を付した用語につきましては、P24に解説を記載しております。

2010年12月期 業績(連結)

	09年12月期 実績	10年12月期 実績	増減率	業績予想 (10.7.27 修正)	(百万円) 差異
売上高	5,480	4,987	△ 9.0%	5,000	△ 0.2%
オープンシステム基盤事業	4,718	4,039	△ 14.4%	4,020	+0.5%
Webアプリケーション事業	762	949	+24.5%	980	△ 3.1%
セグメント間調整	0	△ 2	-	-	-
売上総利益	2,251	2,127	△ 5.5%	2,250	△ 5.4%
販管費	2,241	2,410	+7.6%	2,590	△ 6.9%
(内 のれん償却)	266	252	△ 5.3%	260	△ 3.0%
営業利益	10	△ 283	-	△ 340	-
経常利益	9	△ 286	-	△ 340	-
当期純利益	△ 33	△ 312	-	△ 360	-
EBITDA	356	52	△ 85.3%	0	-
(連結社員数)	(206名)	(211名)	(+ 5名)		

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

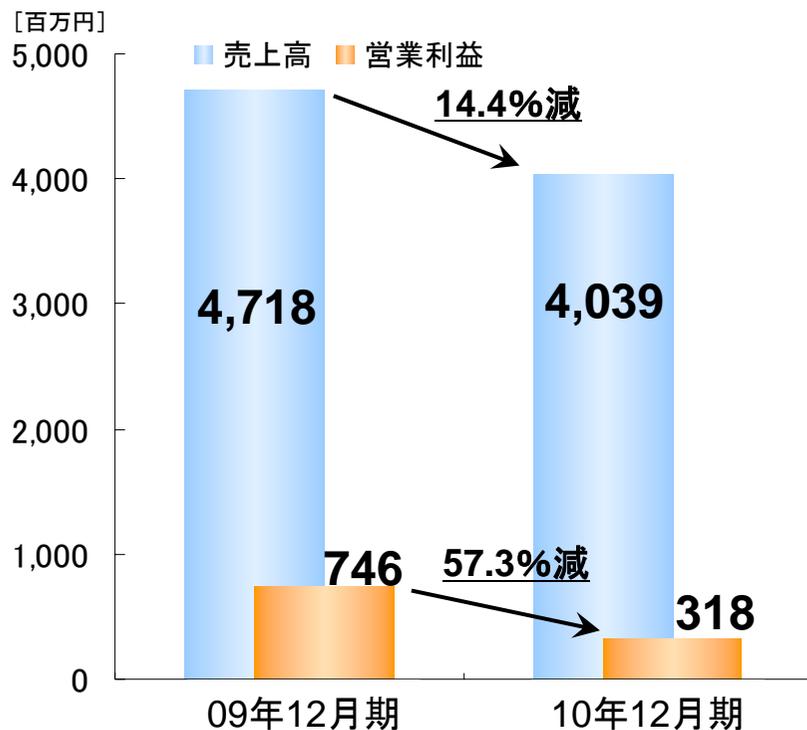
2010年12月期 業績(個別)

	(百万円)			(百万円)			(千ドル)		
	サイオス単体			米SIOS Corp単体(¥ベース)			米SIOS Corp単体(\$ベース)		
	09年12月期 実績	10年12月期 実績	増減	09年12月期 実績	10年12月期 実績	増減	09年12月期 実績	10年12月期 実績	増減
売上高	4,970	4,649	△ 6.5%	765	722	△ 5.6%	8,174	8,230	+0.7%
(システム基盤)	4,280	3,748	△ 12.4%	765	722	△ 5.6%	8,174	8,230	+0.7%
(Webアプリ)	690	900	+30.4%	-	-	-	-	-	-
売上総利益	1,560	1,472	△ 5.6%	654	570	△ 12.8%	6,985	6,499	△ 7.0%
販管費	1,411	1,415	+0.3%	771	937	+21.5%	8,241	10,683	+29.6%
(内のれん償却)	-	-	-	261	247	△ 5.4%	2,795	2,819	+0.9%
営業利益	149	56	△ 62.0%	△ 117	△ 367	-	△ 1,256	△ 4,184	-
経常利益	145	55	△ 61.7%	△ 113	△ 364	-			
当期純利益	110	22	△ 79.3%	△ 122	△ 342	-			
			換算レート: 1\$ =	93.66円	87.78円				
(社員数)	(144名)	(153名)	(+ 9名)	(37名)	(38名)	(+ 1名)			

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

オープンシステム基盤事業について

売上高	4,039百万円	(前年同期比	14.4%減)
営業利益	318百万円	(同	57.3%減)



売上高

[国内]

- ・「LifeKeeper」は前年比増収で推移。
- ・「Red Hat Enterprise Linux」は、新規受注金額は堅調に推移したが、旧製品・サービスが減収。

[海外]

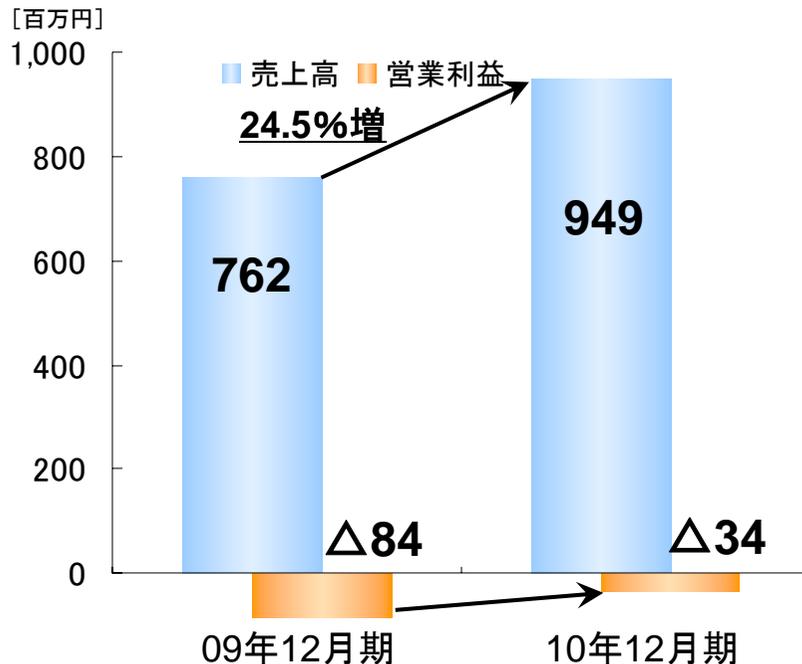
- ・「LifeKeeper」の欧州向け販売は増収となるが、米国向けが減収。

営業利益

- ・米国子会社で、「CloudStation(仮称)」*の開発に係る研究開発・マーケティングコスト、既存分野での人材拡充を実施し、2.4Mドルの販管費増。

Webアプリケーション事業について

売上高	949百万円	(前年同期比	24.5%増)
営業利益	△34百万円	(前年同期は	△84百万円)



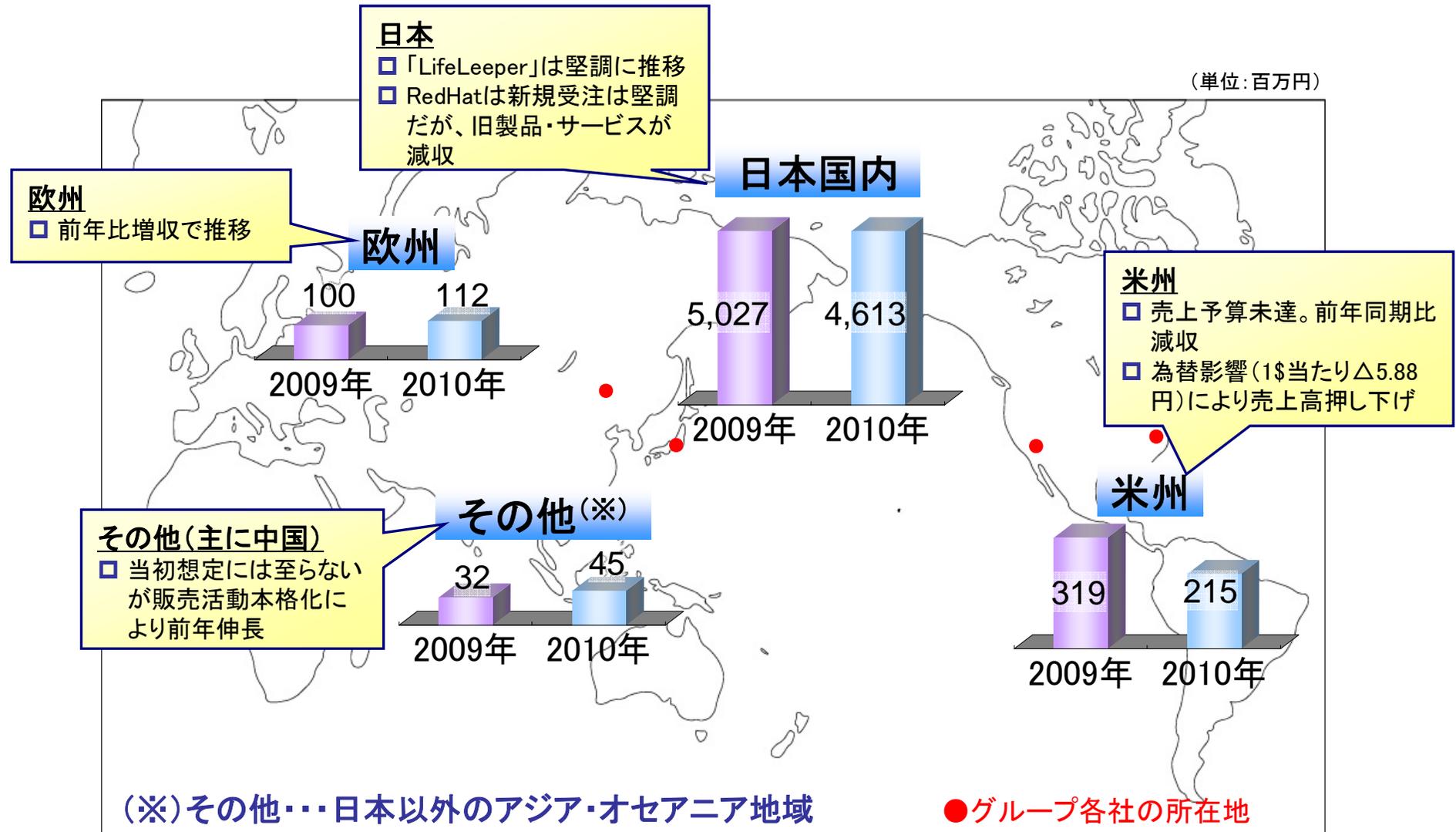
売上高

- ・「SIOS Integration for Google Apps」は前年比増収で推移
- ・Google Apps導入は45万ユーザーを突破
(2010年12月末時点・・・大学／民間含む)
- ・クラウドやOSS*を活用した受託開発も堅調に推移
- ・一昨年提供を開始したMFP関連ソリューションが徐々に収益に貢献

営業利益

- ・売上増加に伴い損失減少となるが、事業構造の転換を念頭に、技術人員の補充等を実施

地域別売上高の状況



2010年12月期末 貸借対照表

(単位: 百万円)

	連結			増減	
	09年12月期 期末実績	10年12月期 期末実績			
流動資産合計	3,089	2,437	△ 652	現金及び預金△349、前渡金△235 など	
固定資産合計	1,123	795	△ 327	のれん△301 など	
(のれん)	663	362	△ 301		
資産合計	4,212	3,232	△ 979		
流動負債合計	1,863	1,418	△ 445	前受金△351など	
(1年内返済長期借入金)	250	125	△ 125		
固定負債合計	228	96	△ 131	長期借入金返済△125 など	
(長期借入金)	125	0	△ 125		
負債合計	2,092	1,515	△ 577		
純資産合計	2,120	1,717	△ 402	利益剰余金の減少△312 など	
負債純資産合計	4,212	3,232	△ 979		

2010年12月期 キャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)

	連結		
	09年12月期 実績	10年12月期 実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	461	48	△ 413
投資活動によるキャッシュ・フロー	37	△ 60	△ 97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 311	△ 275	+36
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△ 60	△ 63
現金及び現金同等物の増減額	189	△ 349	-
現金及び現金同等物の期首残高	1,285	1,474	+189
現金及び現金同等物の期末残高	1,474	1,125	△ 349

税引前当期純損失	△285
減価償却	+62
のれん償却	+252
売上債権減少	+70
前渡金の減少	+235
前受金の減少	△322
法人税等支払	△47 など

固定資産取得 △61 など

借入金返済 △250 など

クラウド

▶ 「SIOS Integration for Google Apps」を始めとするサービスの 内容拡充及び体制充実による収益拡大

⇒ 「SIOS Integration for Google Apps」の売上は、当初の
想定に届かなかったが、Google Apps導入実績は、12
月末時点で45万ユーザーを突破。(大学/民間企業の合
算ユーザー数)

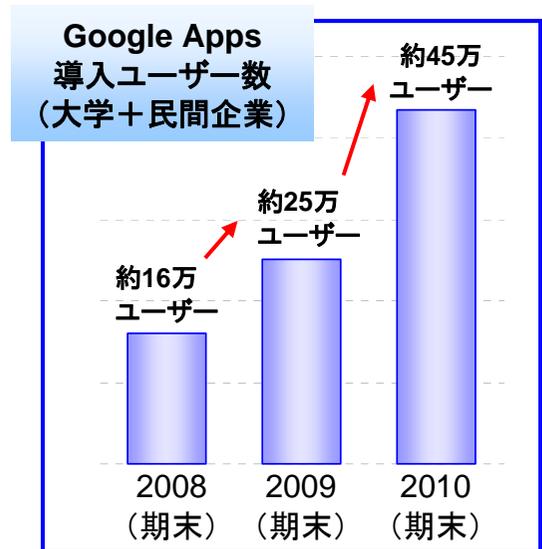
⇒ Google AppsのLotus Notesとの組み合わせ導入により、
既存のLotus Notesのコストを大幅に削減。

▶ クラウド中心の事業構造へ転換

⇒ 「Google App Engine* for JAVA」を活用した先進的な導
入事例の獲得。(事例は巻末ご参照)

▶ グループ間の技術シナジーをより一層強化

⇒ クラウド分野のグループ間シナジーと新規分野は展開途
上であり、2011年の課題に持ち越し。



OSS

- ▶ 「LifeKeeper」「Red Hat Enterprise Linux」を始めとした「OSSワンストップソリューション」*の提供を拡大
 - ⇒ 想定を下回っているが、前年比では増収で推移。
 - ⇒ アライアンスや導入事例なども着実に増加。(事例は巻末ご参照)
- ▶ 中国市場開拓の本格化による「LifeKeeper」事業のグローバル展開を加速
 - ⇒ 想定を下回った上半期の状況を鑑み、計画の見直しを実施。体制再構築。
- ▶ グループ会社間シナジーをより一層高め、より効率的な製品開発と品質保証に転換
 - ⇒ 米国子会社製品の品質保証業務の国内での推進や人材交流を実施。

新規事業への取り組みについて

2010

一部公開
(3/3) CeBIT 2010 でクラウド環境での事業継続ソリューションを公開

初期開発フェーズ

市場調査・顧客ヒアリング

2011

ビジネス性の再検証

コンサルティングからアプリケーションに至るクラウドソリューション開発

米国子会社にて新サービス「CloudStation(仮称)」開発を進めてきたが、開発リスク(コスト・時間)が想定以上に必要となると判断。(2010年の総投資額は約1.5Mドル)

※研究開発費のほか人件費等付随経費を含む

「CloudStation(仮称)」開発=アプリケーションやデータの統合的な管理保護を行うサービス。

2010年迄の研究開発を活かし、クラウド関連新規ビジネスは方向性を修正。

2010年12月期 決算概要

中期事業戦略と2011年12月期業績予想

中期目標数値について

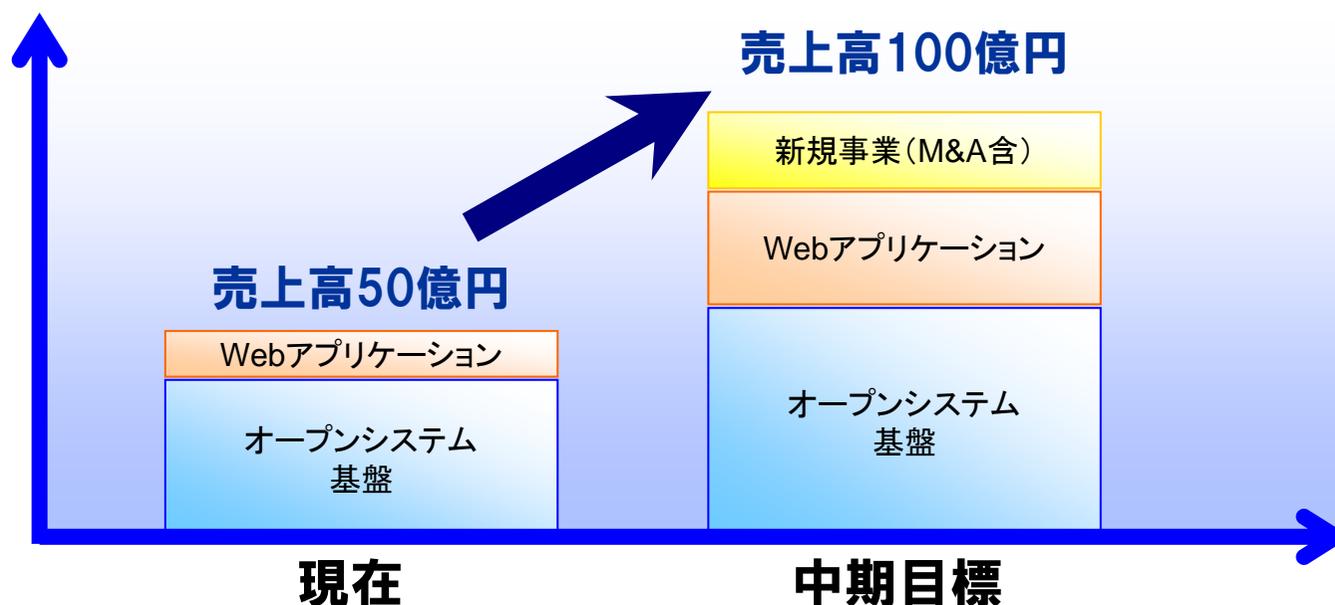
中期目標数値は据え置き（2009年2月2日公表ベース）

当社グループは、中期的に

売上高100億円、EBITDA15億円を目指します。

（EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

なお、実現目標時期については、世界経済状況や当社を取り巻く事業環境、中期事業戦略の進捗状況に応じて公表します。



「クラウド」と「OSS」への注力を継続

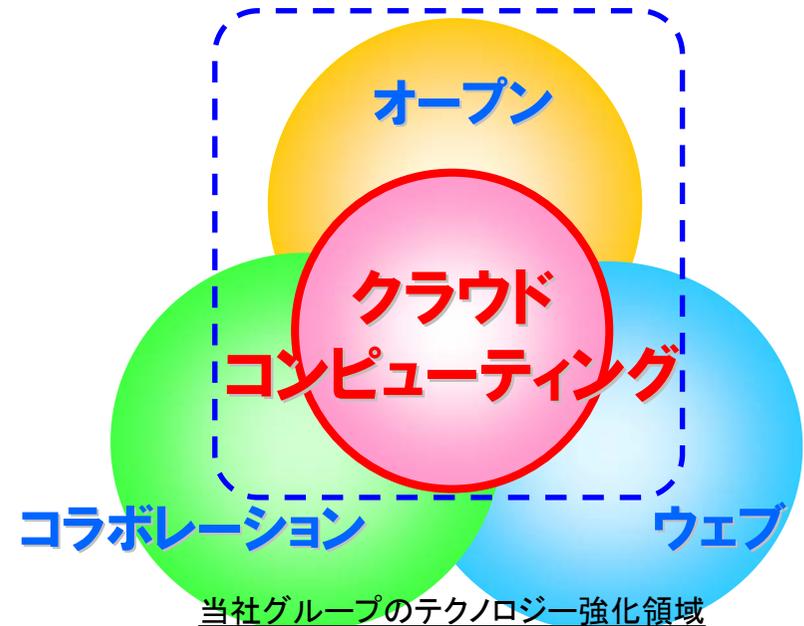
- OSSを基盤技術としたクラウドがこれまでも増して世の中を席卷する時代へ突入。
- 経営とITの連携が一層必要とされる時代が到来。



**クラウドとオープンの分野
を中心とした展開による
事業構造転換を継続**



出典: 2010年情報通信白書(総務省)



クラウド

- ▶ 「SIOS Integration for Google Apps」の提供拡大と周辺分野でのサービス展開
 - Google Appsの顧客を継続的に開拓
 - Google Apps周辺分野でのサービス提供型ビジネスモデルを展開
- ▶ クラウド型のインテグレーションに転換
 - 先端技術の追求、先進的事例の獲得による実績の積み上げ

OSS

➤「LifeKeeper」の更なる拡販

- 製品競争力強化に向けた研究開発により、メジャーバージョンアップを計画
- 世界各地域での販売パートナーの開拓、関係強化

➤OSSワンストップソリューションの展開を継続

- 「Red Hat Enterprise Linux」を始めとした総合的ソリューション提案による顧客ニーズの実現
- 営業・マーケティング活動における顧客対応力強化

2011年12月期 通期業績予想

(百万円)

	連結			
	10年12月期 実績	11年12月期 業績予想	増減額	増減率
売上高	4,987	5,100	+112	+2.3%
オープンシステム基盤事業	4,039	4,100	+60	+1.5%
Webアプリケーション事業	949	1,000	+50	+5.3%
セグメント間調整	△ 2	0	+2	-
売上総利益	2,127	2,150	+22	+1.1%
販管費	2,410	2,400	△ 11	△ 0.4%
(内のれん償却)	252	250	△ 2	△ 0.9%
営業利益	△ 283	△ 250	+33	-
経常利益	△ 286	△ 250	+36	-
当期純利益	△ 312	△ 270	+42	-
EBITDA	52	60	+8	+14.70%

オープンシステム基盤事業

- 「LifeKeeper」の更なる拡販
- 「Red Hat Enterprise Linux」の提供内容変更による影響
- 為替換算レート: 1ドル当たり87.00円 (10年実績 87.78円)

Webアプリケーション事業

- 「SIOS Integration for Google Apps」、MFP関連ソリューションの提供拡大
- 受託開発は微増の見込み

販売管理費

- 戦略的な技術・営業強化は行うものの既存事業でのコスト削減を継続し、合計では2010年並みの水準

ご参考

- ◇サイオステクノロジーについて
- ◇当社グループの事業領域
- ◇提案・提供事例
- ◇用語集

Software for Innovative Open Solutions

サイオステクノロジーは、1997年の創業以来、Linuxに代表される**オープンソースソフトウェア(OSS)**の開発と利用を軸に、**OS(基本ソフトウェア)**から**Webアプリケーションソフトウェア**にかかわる事業を推進し、情報システムのコスト削減に関する取り組みを推進しています。また、市場が拡充しつつある**クラウドコンピューティング分野**でも、**OSS**の利活用を通じて、最先端のシステムを提供しています。

これからも**革新的なソフトウェア技術**を追求し、**世界のIT産業に影響力のある存在、「インフルエンサー」と**なって価値を創造し、**社会の発展に貢献してまいります。**



(2010年12月31日現在)

本社：東京都港区虎ノ門4-1-28

設立：1997年5月23日

連結子会社：SIOS Technology Corp.(米)、赛欧思(北京)科技(中)、グルージェント(日)

資本金：1,481百万円

社員数※：連結211名、単体153名

※社員数は、期末時点での正社員、派遣社員、契約社員の合計

当社グループの事業領域

オープンシステム基盤事業

事業継続ソリューション

「LifeKeeper」
「DataKeeper」*
「Data Replication」*

オープンソースソリューション

「Red Hat Enterprise Linux」
「JBoss Enterprise Middleware」*
「Postgres Plus」*

オープンソースソフトウェア(OSS)サポート

エンジニア向けトレーニング

OSSワンストップソリューション

Webアプリケーション事業

クラウドインテグレーション

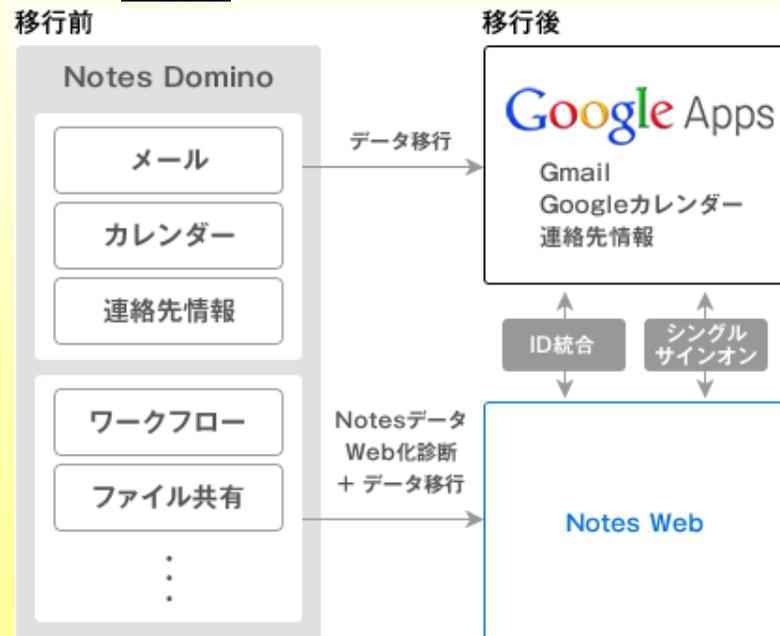
「SIOS Integration for Google Apps」
「サイオス受託開発サービス
for Google App Engine」

SIOS Applications

MFP関連ソリューション
「ProjectKeeper」*
「Sales Force Automation+」*

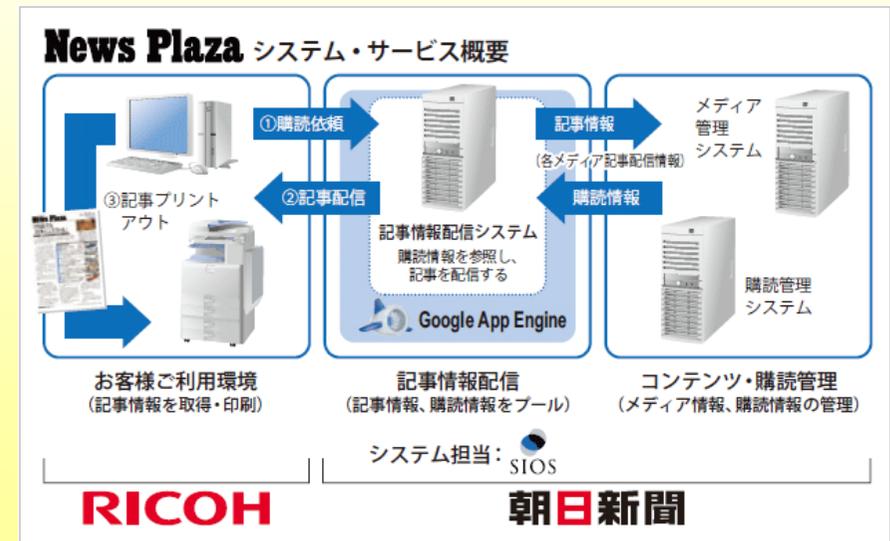
新サービス

- **Notes*からGoogle AppsとNotes 共存環境への移行サービスを開始**
 - ✓ Google AppsのLotus Notesとの組み合わせ導入により、既存のLotus Notesのコストを大幅に削減



導入事例

- **株式会社朝日新聞社 様**
 - Google App Engine を利用してメディア管理/配信システムを短期間で開発、TCO(Total Cost of Ownership)の大幅削減を実現



新サービス

➤ 日商エレクトロニクスと共同で、**OSSの活用によるサーバー移行支援サービスを提供開始**

- ✓ 日商エレはお客様のシステム要件に最適な信頼性の高いハードウェアを提供
- ✓ サイオスはOSからミドルウェア、アプリケーションソフトウェアまでOSSを活用したシステム設計構築、サポートを提供

マイグレーション元システム構成

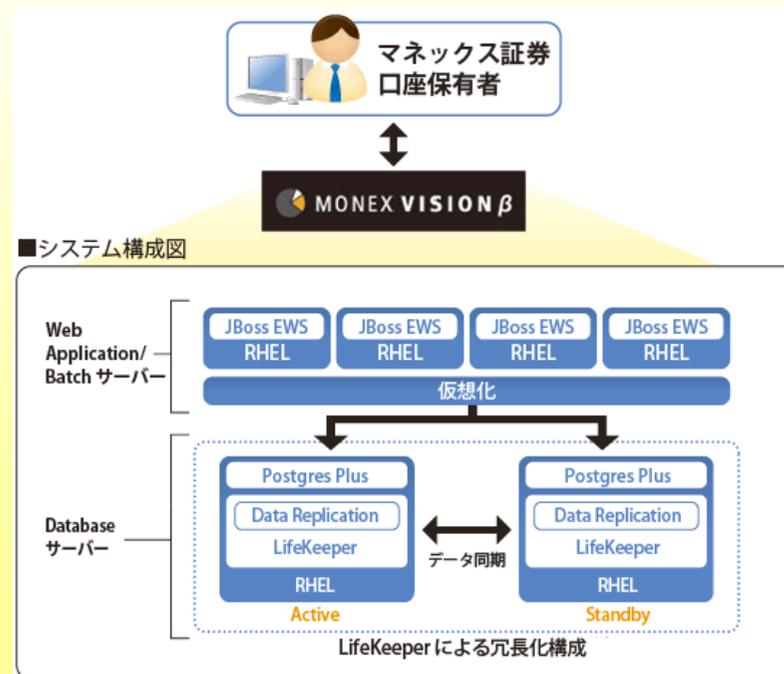
マイグレーション先システム構成



導入事例

➤ マネックス証券株式会社 様

- マネックス証券の先進サービス「MONEX VISION β」のインフラ構築からアプリ開発までを一貫して OSS で実現



用語集

頁	用語	説明
2	LifeKeeper	SteelEye社の開発による、本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA(ハイアベイラビリティ)クラスターソフトウェア。
2	SIOS Integration for Google Apps	Googleが提供する、メール、インスタント メッセージ、スケジュール管理、ワープロ・表計算等をパッケージにしたホスティング型アプリケーションサービスGoogle Appsとお客様の既存の情報システムを直接連携させるサービス。
2	MFP関連ソリューション	2009年から提供を開始したMFP(Multi Function Peripheralの略、1台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAXなどの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと。)上で操作できる文書管理ソフト「Quickスキャン」等。
2	Red Hat Enterprise Linux	世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
2	クラウドコンピューティング	コンピュータ処理をネットワーク(通常はインターネット)経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
5	CloudStation(仮称)	アプリケーションやデータの統合的な管理・保護を可能にする新サービスとして、2009年から米国子会社 SIOS Technology Corp.にて開発に着手。2010年3月、ドイツで開催された世界最大級の情報・通信技術の展示会「CeBIT」にて同社の持つデータ複製技術を利用した機能の一部を公開しました。
6	オープンソースソフトウェア(OSS)	ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
10	Google App Engine	Googleが提供するWebアプリケーションプラットフォームで、Googleアプリケーションを実行しているのと同じ拡張性の高いシステムでWebアプリケーションを構築できる。
11	OSSワンストップソリューション	オープンソースソフトウェア(OSS)を活用した企業システムの構築におけるコンサルティングから開発、構築、保守サポートまでをワンストップで提供し、経営コストの削減を総合的に支援するサービス。
21	DataKeeper	米国子会社SIOS Technology Corp.の製品。データの複製を別の場所にリアルタイムに保存することを実現するソフトウェア。
21	Data Replication	データの複製を別の場所にリアルタイムに保存して、データの保全と障害時の早期復旧を支援するソフトウェア。
21	JBoss Enterprise Middleware	世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が提供するエンタープライズ向けに最適化されたオープンソースの統合ミドルウェア製品。
21	Postgres Plus	高性能なオープンソースのデータベースである PostgreSQL をベースに米国のEnterpriseDB社が開発した企業ユーザー向けデータベース製品。
21	ProjectKeeper	高性能版のプロジェクト管理ソフトウェアで、プロジェクトの工程、スケジュール、要員、進捗管理など基本機能の他、プロジェクトの原価予実分析やEVM(出来高管理)分析機能も提供。
21	Sales Force Automation+	容易な操作性、BI(ビジネスインテリジェンス)機能を備えた柔軟な分析機能を、安価で提供する営業支援ツール。
22	Notes(Lotus Notes)	米国IBM社が開発・販売しているグループウェア用ミドルウェア。

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオステクノロジー（IR担当）

03-6860-5105(代表)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください → https://www.sios.com/ir/form-IR_ssl.html



SIOS